
統合ネットワークサービス
(IPCOM VE2V シリーズ)

V01L06

検証版から正式版への移行手順

はじめに

統合ネットワークサービス（IPCOM VE2V シリーズ）（以降、IPCOM VE2V と記述します）は、FJcloud-V/ニフクラ上で提供されるサービスであり、インターネットやイントラネットとシステム（サーバーやアプリケーション）を接続するシステムフロントで必要となるさまざまなトラフィック制御機能やセキュリティ機能を持っています。

このマニュアルは、IPCOM VE2V（検証版）から IPCOM VE2V（正式版）への移行手順について説明しています。

2023 年 6 月 初版

Copyright 2023 FUJITSU CLOUD TECHNOLOGIES LIMITED

目次

はじめに	2
目次.....	3
本書の目的と構成.....	4
本書の目的.....	4
本書の構成.....	4
1 移行手順	5
1-1 移行作業の前提.....	6
1-2 作業手順.....	7
1-2-1 IPCOM VE2V (検証版) 設定内容確認.....	7
1-2-2 IPCOM VE2V (検証版)で情報のエクスポート(退避).....	8
1-2-3 IPCOM VE2V (正式版)の新規作成.....	9
1-2-4 IPCOM VE2V (検証版)の停止	10
1-2-5 IPCOM VE2V (正式版)にマルチ IP を設定	10
1-2-6 IPCOM VE2V (正式版)の起動	11
1-2-7 移行後の作業.....	12
2 切り戻し方法	13
2-1 IPCOM VE2V (正式版)の停止	13
2-2 IPCOM VE2V (検証版)にマルチ IP を設定	13
2-3 IPCOM VE2V (検証版)の起動	13
2-4 切り戻し後の作業	13

本書の目的と構成

本書の目的と構成及び概要について説明いたします。

本書の目的

本書は、「検証版イメージ」で作成した IPCOM VE2V（以降、IPCOM VE2V（検証版）と記述します）から、「正式版イメージ」で作成した IPCOM VE2V（以降、IPCOM VE2V（正式版）と記述します）に設定および IP アドレスを移行する方法を説明したものです。

サービスの詳細は以下をご参照ください。

【正式版】統合ネットワークサービス（IPCOM VE2V シリーズ）

<https://pfs.nifcloud.com/service/ipcom.htm>

本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

第 1 章 移行手順

IPCOM VE2V（検証版）から IPCOM VE2V（正式版）への移行方法を説明しています。

第 2 章 切り戻し手順

移行に失敗した際の切り戻し方法を説明しています。

1 移行手順

本製品を安全に正しく移行するために守って頂きたい重要な情報を記載しています。

- 作業時間目安

事前準備 約 30 分(1-2-1 ～ 1-2-3) ※通信断は発生しません

移行作業 約 40 分(1-2-4 ～ 1-2-5) ※通信断が発生します

- 引継がれる設定情報

本ドキュメントでご紹介する IPCOM の「退避・復元」で引き継がれる設定情報と引き継がれない設定情報がございます。

移行される設定情報につきましては「保守ガイド」の「1-2-2 ファームウェアの更新による各種設定情報への影響一覧」をご参照ください。

<https://pfs.nifcloud.com/pdf/ipcom/hoshu.pdf>

- 移行の流れ

- 事前準備

- ① IPCOM VE2V (検証版)での確認/エクスポート(退避)作業

IPCOM VE2V (正式版)への移行が完了し、設定内容が問題なく移行できているか整合性確認をするために事前に IPCOM VE2V (検証版)の設定情報の確認を行います。

また、IPCOM VE2V (正式版)にインポート(復元)する設定情報ファイルを IPCOM VE2V (検証版)からエクスポート(退避)します。詳細は以下をご参照ください。

- ・1-2-1 IPCOM VE2V (検証版)設定内容確認
- ・1-2-2 IPCOM VE2V (検証版)で情報のエクスポート(退避)

- ② IPCOM VE2V (正式版)の構築

IPCOM VE2V (正式版)を作成しリソースの追加など環境の構築を進めます。詳細は以下をご参照ください。

- ・1-2-3 IPCOM VE2V (正式版)の新規作成

- 移行作業

- ③ 移行作業

IPCOM VE2V (検証版)から IPCOM VE2V (正式版)への移行作業

こちらの作業では通信断が発生します。詳細は以下をご参照ください。

- ・1-2-4 IPCOM VE2V (検証版)の停止
- ・1-2-5 IPCOM VE2V (正式版)にマルチ IP を設定

- ④ 移行後の環境整備

移行後の不要なリソースを削除します。詳細は以下をご参照ください。

- ・1-2-6 移行後の作業

- 移行条件

IPCOM VE2V(正式版)は IPCOM VE2V(検証版)と同じシリーズ/同じスペックである必要があります

1-1 移行作業の前提

本ドキュメントは移行手順を記載しておりますが、いくつか前提がございます。

- 移行手順はダウンタイムを最小にする方法を記載しております。
ダウンタイムを最小とするため、IPCOM VE2V（検証版）で利用している増設ディスクや追加 NIC などのリソースを追加で作成していただく必要があります。
- 移行手順の「退避・復元」は IPCOM Web コンソールを利用する方法で記載しております。
FTP サーバーを利用した移行方法もございますが、本ドキュメントでは Web コンソールを利用した移行方法を記載しております。
- 以下の FJcloud-V/ニフクラサービスを利用する構成例で記載しております。

・増設ディスク	1 つ
・追加 NIC	1 つ
・マルチ IP	1 つ

本ドキュメントの移行例では上記のサービスを利用することを前提としております。IPCOM VE2V（正式版）へ移行する際は「増設ディスク」と「追加 NIC」を新規で作成する必要があります。利用数によって発生する料金は異なりますのでご注意ください。

※IPCOM VE2V のご利用には増設ディスクは必須となります。

- プライベート LAN を経由した運用管理であることを前提としております。

ご注意

作業手順が前後すると、FJcloud-V/ニフクラの禁止事項に抵触する可能性がございます。

共通グローバルから IPCOM に接続(WEB コンソール/ssh)して操作する際は別途お問い合わせください。

本手順書は作業前に必ず一読してください。

お問い合わせは以下の FJcloud-v/ニフクラのトラブル窓口をご利用ください。

<https://pfs.nifcloud.com/inquiry/support.htm#basicsupport>

1-2 作業手順

手順は事前に確認するようにお願いいたします。

1-2-1 IPCOM VE2V (検証版) 設定内容確認

移行作業完了後に、IPCOM VE2V (正式版)と IPCOM VE2V(検証版)でコマンド実行結果の比較を行いますので、本章でご案内するコマンドを実行し結果を控えてください。

※コマンドを実行するためには「コンソール接続」または「SSH 接続」でログインする必要があります

実行コマンド① 「show system resource」

こちらはインターフェースの割り当て状況を確認するコマンドです。

移行先の IPCOM VE2V (正式版)とインターフェースの整合性が取れているかの確認で使います。

※実行コマンド①で出力された MAC アドレスと FJcloud-v/ニフクラコントロールパネル上の移行元 IPCOM VE2V

(検証版)から確認できる MAC アドレスを比較し、インターフェースがどのネットワークと接続されているかを確認します。

FJcloud-V/ニフクラコントロールパネルからの MAC アドレス確認方法

「コンピューティング」 > 「サーバー」 > 対象 IPCOM VE2V (検証版)を検索 > 「ネットワーク」タブ



実行例

```
IPCOMTEST3# show system resource
CPU           : 1
Memory        : 3949MB
HDD            : PRESENT
HDD size      : 100GB
Cipher Card   : NO_PRESENT
lan0.0
  driver      : vmxnet3
  MAC address : E8:17:FC:28:2B:BC
lan0.1
  driver      : vmxnet3
  MAC address : E8:17:FC:28:CD:F9
```

```
lan0.2
  driver      : vmxnet3
  MAC address: E8:17:FC:28:FB:94
```

※出力結果から FJcloud-v/ニフクラコントロールパネル上にある同じ MAC を確認し、そのネットワーク名を記録してください

実行コマンド②「show running-config」

こちらのコマンドは装置に反映されている構成定義の全内容を表示するコマンドです。

実行例

```
IPCOMTEST3# show running-config
hostname IPCOMTEST3
fixup protocol dons 53/udp
fixup protocol ftp 21/tcp
fixup protocol http 80-83/tcp
fixup protocol http 8080-8083/tcp
fixup protocol https 443/tcp
access-map mng-lan-connection inbound
  rule 10 mng-in-telnet any any telnet
    action accept audit-normal
  !
  rule 20 mng-in-ssh any any ssh
    action accept audit-normal
  !
  rule 30 mng-in-webconsole any any tcp any 82
    action accept audit-normal
  !
  rule 50 mng-in-dhcp-client any any udp any 68
    action accept audit-normal
  !
!
以下省略-----
```

※本手順で確認したコマンド結果は、移行後の結果と比較するために保存をしてください

1-2-2 IPCOM VE2V (検証版)で情報のエクスポート(退避)

IPCOM VE2V (検証版)の情報をエクスポート(退避)させます。前提に記載の通り Web コンソールを利用した作業手順を記載いたします。

- ① Web コンソールへのログイン方法は「IPCOM EX2 コンソールリファレンスガイド」の「1-2 起動方法」を実施してください。

<https://pfs.nifcloud.com/pdf/ipcom/console.pdf>

※「1-2 起動方法」とあわせて「1-1-3-1 Web ブラウザ設定」もご参照ください

- ② 「保守ガイド」の「1-6 環境を退避・復元する」を参照して IPCOM VE2V (検証版)の情報をエクスポート(退避)させてください。

<https://pfs.nifcloud.com/pdf/ipcom/hoshu.pdf>

1-2-3 IPCOM VE2V (正式版)の新規作成

移行先の IPCOM VE2V (正式版)を新規で作成します。

① 新規作成時に利用するスクリプトを作成する

スクリプト設定例

ファイル名 : ipcom.sh

```
admin_remote_login_enable=yes . . . . . ※1
admin_password_enable=yes . . . . . ※2
admin_password_plain=<任意の文字列> . . . . ※3
```

※1 リモートアクセスをオンに設定

※2 admin ユーザーのパスワードをオンに設定

※3 admin ユーザーの初期パスワードを設定

スクリプトの詳細は「VE2V ユーザーズガイド」の「付-D コンフィグドライブによる設定」をご参照ください。

https://pfs.nifcloud.com/pdf/ipcom/IPCOMVE2VE2_users.pdf

※インポート(復元)作業時に Web コンソールを使用するため、本スクリプトを指定して IPCOM VE2V (正式版)を作成してください

② IPCOM VE2V (正式版)を新規作成

サーバー/増設ディスク/追加 NIC の作成方法は「スタートガイド」の「3-1 サーバーの作成」から「3-3 NIC の追加」をご参照ください。

https://pfs.nifcloud.com/pdf/ipcom/VE2V_guide.pdf

※IPCOM VE2V (正式版)を停止状態にしてから作業をしてください。

※「3-4 マルチ IP アドレスの追加」の実施は不要です。

③ サーバーを起動して「show system resource」コマンドを実行してください。

ログイン ID 時は「admin」、パスワードは①のスクリプトで設定したパスワードを利用。

実行例

```
ipcom# show system resource
CPU           : 1
Memory        : 3949MB
HDD            : PRESENT
HDD size       : 100GB
Cipher Card    : NO_PRESENT
lan0.0
  driver       : vmxnet3
  MAC address: E8:17:FC:28:64:7B
lan0.1
  driver       : vmxnet3
  MAC address: E8:17:FC:28:8B:6A
lan0.2
  driver       : vmxnet3
  MAC address: E8:17:FC:28:85:CA
```

IPCOM VE2V (検証版)の「show system resource」実行結果と比較して、意図通り(IPCOM VE2V (検証版)環境と同様)に追加 NIC が割り当てられているか確認してください。

※割り当て先が変わると移行後に意図した通信ができなくなるので、必ず確認してください

※確認方法は「1-2-1 IPCOM VE2V (検証版) 設定内容確認」をご参照ください

- ④ IPCOM VE2V (正式版)を停止してください。

停止方法は以下の FJcloud-V/ニフクラクラウドヘルプをご参照ください。

<https://pfs.nifcloud.com/help/server/stop.htm>

1-2-4 IPCOM VE2V (検証版)の停止

ご注意

本作業から通信断が発生いたします。

- ① IPCOM VE2V (検証版)を停止してください。

停止方法は以下の FJcloud-V/ニフクラクラウドヘルプをご参照ください。

<https://pfs.nifcloud.com/help/server/stop.htm>

1-2-5 IPCOM VE2V (正式版)にマルチ IP を設定

- ① 停止状態の IPCOM VE2V (検証版)からマルチ IP を解除してください。

解除方法は以下の FJcloud-V/ニフクラクラウドヘルプをご参照ください。

https://pfs.nifcloud.com/help/ip_multi/allocation.htm

※再起動方法は「再起動しない」を選択してください

- ② IPCOM VE2V (正式版)にマルチ IP を設定してください。

設定方法は以下の FJcloud-V/ニフクラクラウドヘルプをご参照ください。

https://pfs.nifcloud.com/help/ip_multi/allocation.htm

※再起動方法は「再起動しない」を選択してください

1-2-6 IPCOM VE2V (正式版)の起動

IPCPM VE2V (検証版)で利用していたマルチ IP を IPCOM VE2V (正式版)に設定をします。

1-2-5 章より先に④を実施すると FJcloud-V/ニフクラの禁止事項に該当いたしますのでご注意ください。

※手順通りに操作をしないと以下の「FJcloud-V/ニフクラ 禁止事項」サイトの「FJcloud-V/ニフクラ上に作成したサーバーのネットワーク設定変更」に該当します

<https://pfs.nifcloud.com/service/rule.htm>

- ① IPCOM VE2V (正式版)を手動で起動してください。

サーバーの起動方法は以下のクラウドヘルプをご参照ください。

<https://pfs.nifcloud.com/help/server/start.htm>

※起動時のサーバーステータスは「異常あり」となりますが、次の手順へ進んで問題ございません

※⑤の再起動が完了したタイミングでサーバーステータスは「オンライン」となります

- ② IPCOM VE2V (正式版)の Web コンソールにログイン

ログイン経路は同一プライベート LAN に接続されているサーバーからのアクセスを想定しています。

Web コンソールへのログイン方法は「IPCOM EX2 コンソールリファレンスガイド」の「1-2 起動方法」を実施してください。

<https://pfs.nifcloud.com/pdf/ipcom/console.pdf>

※「1-2 起動方法」とあわせて「1-1-3-1 Web ブラウザ設定」もご参照ください

- ③ 保守ガイドの「1-6 環境を退避・復元する」を参照して IPCOM VE2V (検証版)の情報をインポート(復元)させてください。

<https://pfs.nifcloud.com/pdf/ipcom/hoshu.pdf>

作業完了の通知がでたら Web コンソールを閉じてください。

- ④ IPCOM VE2V (正式版)が再起動します。

FJcloud-V/ニフクラコントロールパネルから IPCOM VE2V (正式版)が起動していることを確認してください。

・IP アドレスの確認

FJcloud-V/ニフクラコントロールパネルで、対象の IPCOM VE2V (正式版)の IP アドレスを確認する

・設定情報の確認

「show running-config」コマンドを実行し、設定情報が移行元の IPCOM VE2V (検証版)と同じになっていることを確認する

※実行方法は「1-2-1 IPCOM VE2V (検証版) 設定内容確認」の実行コマンド②をご参照ください

上記 2 点が事前作業で控えた内容と同一であることを確認後、業務確認を実施して問題なければ作業終了

1-2-7 移行後の作業

問題なく移行ができていることが確認できましたら、移行後の作業を実施してください。

IPCOM VE2V (検証版)の削除

※誤って IPCOM VE2V (正式版)と IPCOM VE2V (検証版)を同時に起動状態にしてしまうと、IP アドレスのバッティングが発生する恐れがあります

追加 NIC や増設ディスクなど不要であれば削除をしてください。

2 切り戻し方法

本章は「1-2-5 IPCOM VE2V (正式版)にマルチ IP を設定」の「⑤IPCOM VE2V (正式版)が起動します。」で問題が発生した場合に、移行手順実施前の IPCOM VE2V (検証版)運用状態へ切り戻す手順を記載いたします。

※IPCOM VE2V (正式版)と IPCOM VE2V (検証版)を同時に起動状態にしてしまうと、IP アドレスのバッティングが発生する恐れがあります

2-1 IPCOM VE2V (正式版)の停止

- ① IPCOM VE2V (正式版)を停止してください。

停止方法は以下の FJcloud-V/ニフクラクラウドヘルプをご参照ください。

<https://pfs.nifcloud.com/help/server/stop.htm>

2-2 IPCOM VE2V (検証版)にマルチ IP を設定

- ① 停止状態の IPCOM VE2V (正式版)からマルチ IP を解除してください。

解除方法は以下の FJcloud-V/ニフクラクラウドヘルプをご参照ください。

https://pfs.nifcloud.com/help/ip_multi/allocation.htm

※再起動方法は「再起動しない」を選択してください

- ② IPCOM VE2V (検証版)にマルチ IP を設定してください。

設定方法は以下の FJcloud-V/ニフクラクラウドヘルプをご参照ください。

https://pfs.nifcloud.com/help/ip_multi/allocation.htm

※再起動方法は「再起動しない」を選択してください

2-3 IPCOM VE2V (検証版)の起動

- ① IPCOM VE2V (検証版)を手動で起動してください。

サーバーの起動方法は以下のクラウドヘルプをご参照ください。

<https://pfs.nifcloud.com/help/server/start.htm>

- ② IPCOM VE2V (検証版)が再起動します。

FJcloud-V/ニフクラコントロールパネルから IPCOM VE2V (検証版)が起動していることを確認してください。

・IP アドレスの確認

FJcloud-V/ニフクラコントロールパネルで、対象の IPCOM VE2V (正式版)の IP アドレスを確認する

・設定情報の確認

「show running-config」コマンドを実行し、設定情報が移行元の IPCOM VE2V (検証版)と同じになっていることを確認する

※実行方法は「1-2-1 IPCOM VE2V (検証版) 設定内容確認」の実行コマンド②をご参照ください

上記 2 点が事前作業で控えた内容と同一であることを確認後、業務確認を実施して問題なければ切り戻し作業終了

2-4 切り戻し後の作業

ご利用の環境に応じて切り戻し後の作業を実施してください。